

地域を変える POWER!!

地域おこし協力隊 ユディカ エルギヤントさん



制服姿の小学生

インドネシアの学校紹介

インドネシアの教育は、オランダ人がインドネシアを占領した1901年に原住民のための学校を設立したのが始まりです。その後、1930年代以降、インドネシアの正式な教育としてほぼすべての州で取組まれるようになりました。

インドネシアでの義務教育は日本の義務教育同様、小学校が6年、中学校が3年の計9年でしたが、インドネシアの大統領であるジョコウィ（Jokowi）氏が2015年に「義務教育を現行の9年から高校を含めた12年に延長する」と発表し、首都及び主要都市では義務教育12年が採用されています。その他、日本と大きく違うのは、小学校、中学校、高校すべての段階で卒業するための統一国家試験が実施されているところです。基準点が設けられ、それを下回ると学校を卒業することができないことがあります。

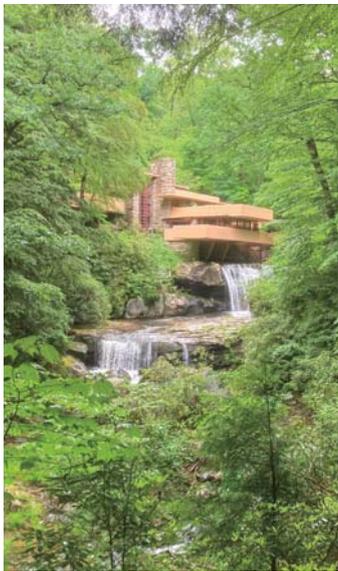
インドネシアで最も多数を占めるのはイスラーム教徒ですが、プロテスタント、カトリック、ヒンズー教、仏教などを信じる人々もあり、一般の学校でもそれぞれの宗教に合わせて宗教の授業が設けられています。言語教育については国語「インドネシア語」だけではなく、スダ語やジャワ語のような地域言語の授業もあるため、小学校から英語の授業も実施しています。学習時間は、どの学校も7時から始まり、小学校は12時、中学校は13時、高校は13時半に終了します。1時間当たり45分の授業が4時間あり、各授業の間に15～30分の休憩があります。休憩時には、生徒達は学校の食堂でおやつ、もしくはご飯を自由に食べます。

インドネシアの学校は制服の着用が義務付けられています。公共の場所では学生が制服での入場を許可していない所が多いです。

国によって学校の文化の違いがあり、肝付町内の学校と私の国の学校との色々な交流が出来ればいいと思います。



高校の食堂



▲フォーリングウォーター（アメリカ）

私の密かな趣味のひとつが建築です。最も好きな建築家は、アメリカの歴史に最も影響を与えた、フランク・ロイド・ライト氏です。70年にわたり1,000以上の建築物を設計しました。20世紀の建築運動において重要な役割を演じ、その作品を通じて世界中の建築家に影響を与えました。ライト氏は、建築は人間や環境との調和であるべきだと考え、それを「有機的建築」と呼びました。この哲学は、アメリカ建築の歴代最高傑作と呼ばれる「フォーリングウォーター」（1935年）に反映されています。

また、オフィス、教会、学校、超高層ビル、ホテル、美術館などのプロジェクトも独創的かつ革新的に設計しました。ライト氏の作品は、日本でも見られます。帝国ホテル（1923年）、自由学園明日館（1921年）、旧山邑家住宅（1918年）などを設計しました。私はアメリカと日本の両方で20の建造物を見ましたが、いつも息をのむような美しさで感動します。日本にもあるフランク・ロイド・ライト氏の作品を、皆さんもぜひ体感してみてください。



▼帝国ホテル

CIR
キャサリンの
お国自慢
(建築物編)



今回はフランク・ロイド・ライト氏の紹介をしたいと思います。

肝付町 CIR のインスタグラム・LINE でイベント情報などアップしています！
フォロー・いいねよろしくお願ひします！



EXPLORE_KIMOTSUKI
Instagram



LINE